

2025 年 9 月 26 日

豊岡市議会

議長 松 井 正 志 様

議会広報広聴特別委員会

委員長 前 田 敦 司

委 員 会 調 査 中 間 報 告 書

本委員会に付託された調査事件について、豊岡市議会会議規則第 45 条第 2 項の規定により、下記のとおり中間報告します。

記

1 付議事件

議会広報紙の発行及び市民意見の聴取、並びに広報・広聴に関する調査研究等

2 委員会調査経過

本委員会は、2024 年 11 月の臨時会において委員選出が行われ、新体制でスタートした。

議会広報紙の発行にあたっては、会議録や原稿の確認を重ね、記事の読みやすさに配慮しつつ最終校正まで行い、従来の取り組みに加えて新たな工夫を取り入れた。

主な取り組みとして、合併 20 周年を迎える本年、第 100 号では、これまでの表紙を集めたデザインと、豊岡市議会の歩みを振り返る特集を掲載した。

また、第 101 号からは、一般質問を含む主要記事を横書きにするなど、大幅なレイアウト変更を実施した。

裏表紙では、前期に引き続き、市民団体の活動を紹介し、「但東チューリップまつり」「円山川城崎ローイング協会」を取り上げ、広聴活動につなげた。

先進地視察としては、7 月 15 日から 16 日にかけて広島県呉市と兵庫県神河町を訪問した。

呉市議会では横書きで雑誌のような構成を取り、市民に「まず見てもらう」工夫を随所に凝らしておられ、裏表紙には小学生の「将来の夢」を写真付きで掲載し、幅広い市民の関心を引き取り組みが行われていた。

神河町議会では、議会だよりの題字を町内の小中高生から募集し、採用者を紹介するなど、世代を超えた関心を引き起こす工夫がされていた。

いずれの議会も、「議会が伝えたいこと」と「市民が知りたいこと」の違いを意識した構成で、市民が興味を持つ工夫があり、さらには全ページフルカラーの紙面づくりを実践しており、大

変参考となる視察となった。(詳細は「行政視察調査報告書」のとおり)

今期は、過去に委員長経験者も多く在籍し、その経験を活かしながら、前例にとらわれない議論を重ね、市民に親しまれる紙面づくりを実現することができた。今後も今回の成果を踏まえ、より多くの市民に届く議会広報を目指して行く。

【議会だよりの発行】

○第 99 号 (2024 年 12 月発行) 10 ページ

〈表紙〉 神鍋高原のイチョウ並木

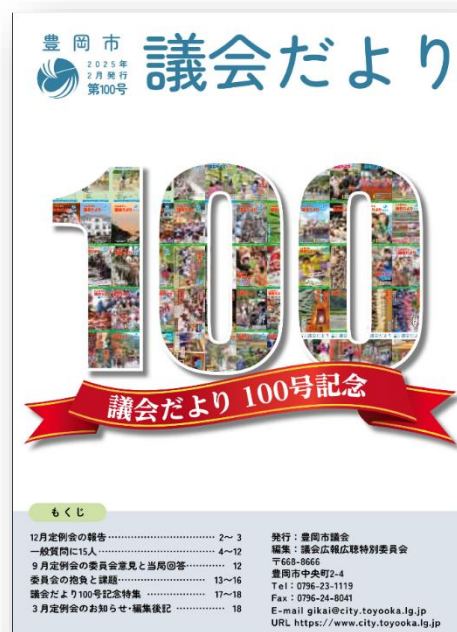
- 〈内容〉
- ・議長就任あいさつ
 - ・委員会構成
 - ・議員のプロフィール
 - ・委員会懇談会報告
 - ・会派の抱負・取り組み
 - ・政務活動費収支報告
 - ・編集後記



○第 100 号 (2025 年 2 月発行) 18 ページ

〈表紙〉 議会だより 100 号記念

- 〈内容〉
- ・12月定例会の報告
 - ・一般質問に15人
 - ・9月定例会の委員会意見と当局回答
 - ・委員会の抱負と課題
 - ・議会だより100号記念特集
 - ・3月定例会のお知らせ
 - ・編集後記



○第 101 号 (2025 年 5 月発行) 20 ページ

〈表紙〉 2025 たんとうチューリップまつり

〈内容〉・ 3 月定例会の報告

- ・ 一般質問に 16 人
- ・ 意見書・陳情
- ・ 1 月臨時会の委員会意見と当局回答
- ・ 管内視察報告
- ・ 意見交換会をしませんか？
- ・ まちの仕掛人 訪問インタビュー
- ・ 6 月定例会のお知らせ
- ・ 編集後記

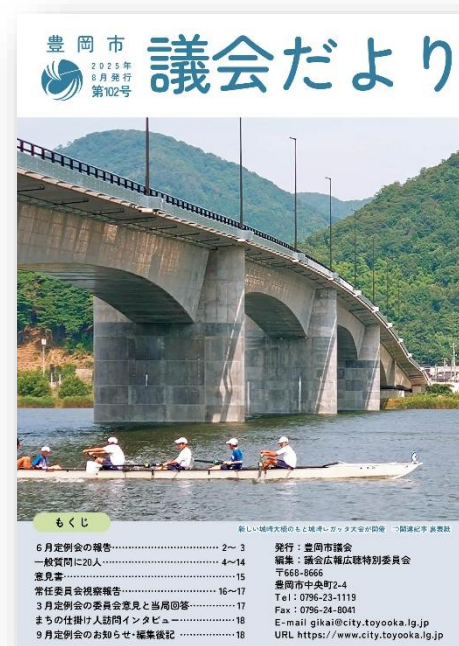


○第 102 号 (2025 年 8 月発行) 18 ページ

〈表紙〉 新しい城崎大橋のもと城崎レガッタ大会
が開催

〈内容〉・ 6 月定例会の報告

- ・ 一般質問に 20 人
- ・ 意見書
- ・ 常任委員会視察報告
- ・ 3 月定例会の委員会意見と当局回答
- ・ まちの仕掛人 訪問インタビュー
- ・ 9 月定例会のお知らせ
- ・ 編集後記



(今後の議会だよりの発行予定)

○第 103 号 (2025 年 11 月発行)

〈表紙・内容〉 未 定

3 今後の課題

本委員会における現状の課題としては、第1に、発行日が議会開催月の翌々月となっており、内容がタイムリーに市民へ届いていないことが挙げられる。第2に、委員が毎年交代するため、広報に関する研修を通じて資質の向上を図るとともに、広報編集要領についての共通認識を持って編集にあたる必要がある。第3に、市民に親しみやすい広聴活動の一層の充実が求められている。

こうした現状を踏まえ、今後の課題としては、以下の点が挙げられる。

- ① 市民にとって見やすく、興味を持っていただけるよう、デザインのさらなる工夫を行うこと。
- ② 可能であれば、全ページフルカラー印刷を実施すること。
- ③ 発行時期を2か月遅れから改善し、より迅速な発行体制を整えること。
- ④ 市民に関わる特集記事を増やし、より親しみやすい紙面づくりを進めること。

これらの課題に取り組むことで、若者や女性をはじめ幅広い世代にとって「開かれた議会」を実現できるよう、引き続き工夫を重ねて行きたい。